

パイロット



2024 Summer

Japan Aircraft Pilot Association



<https://www.japa.or.jp>



『公益社団法人 日本航空機操縦士協会のめざすもの』

1. 私達の活動の目的は、定款に定められた通り「航空技術の向上を図り、航空の安全確保につとめ航空知識の普及と諸般の調査研究を行い、もって我が国航空の健全な発展を促進する」ことです。
2. 私達は、定款の目的を踏まえ、将来のあるべき姿として「安全で誰からも信頼され、愛される航空を実現する」というビジョンを描いています。
3. 私達は、目的・ビジョンを達成するために下記を基本的指針に掲げて活動して行きます。
 - (1) 航空の安全文化を構築する。
(組織と個人が安全を最優先する気風や習慣を育て、社会全体で安全意識を高めて行くこと)
 - (2) 地球環境と航空の発展との調和を図る。
 - (3) 航空に携わるもの同士が心を通わせ共存共栄を図る。

パイロット

「Cover photo by 藺 英則」

2024 Summer INDEX

03 専務理事挨拶 / 専務理事 池田 晃二

05 会費額改定について / 専務理事 池田 晃二

06 第 59 回通常総会開催報告 / 事務局

07 第 60 期業務執行理事紹介 / 事務局

08 新任理事紹介・第 60 期役員表 / 事務局

09 航空スポーツ教室 in 三田図書館 出展報告 / ジェネラル・アビエーション委員会

10 Be a pilot オンラインセミナー実施報告 / エアライン委員会 田中 天兵

16 Fly with us ~ OKA (沖縄) / エアライン委員会 三浦 雄児

18 第 21 回小型航空機セーフティセミナー開催報告 / ビジネス航空委員会

19 ご寄付のお願いについて / 事務局

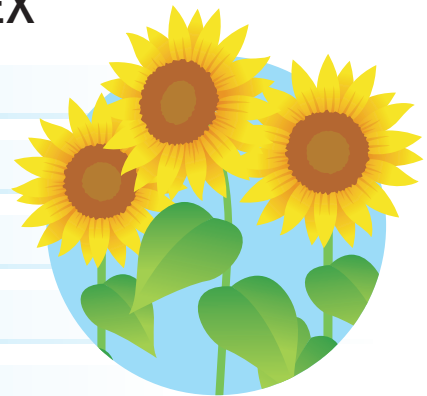
20 JAPA 団体保険のご案内 (ロスオブライセンス) / 事務局

21 法人賛助会員 会社紹介

22 表彰報告 / 事務局

23 福利厚生のご案内 / 事務局

24 JAPA 案内 / 事務局



専務理事挨拶

専務理事
池田 晃二



大暑の頃、暑さ厳しい毎日ですが、会員の皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。

今号より Summer 号は当面の間、電子書籍のみの発行になります。会員の皆さまにおかれましては、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

去る6月21日の第59回通常総会にて、令和6年度事業計画を報告致しました。今年度の事業計画は「航空安全の更なる推進」「航空の裾野拡大」「事業の改善と見直しなどによる財務の健全化」を三本の柱として進めていきます。

「航空安全の更なる推進」では、関係省庁・団体主催の多くの委員会・協議会などへ委員を積極的に派遣し、パイロットの見地から情報・知識・意見を発信します。今年は、国土交通省主催の「羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会」にも参加し、「滑走路誤侵入防止」に向けた活動をしています。各地で行う講習会・シンポジウム・セミナーなどを通して、また JAPA 発行の電子書籍「JAPA Air Book」を含む書籍刊行物および教材など、ホームページ、メールマガジン、SNSなどでも広く安全に関する情報と知識を提供します。特に JAPA ホームページにも掲載されている「ATC コミュニケーションハンドブック」は国土交通省、関係団体と共に活用を推進していきます。

「航空の裾野拡大」では、次世代を担う幅広い年齢層の若者に対し、全国各地でパイロットのみならず航空の各職種を紹介したり、FTD（飛行訓練装置）も活用し操縦体験も実施したり、オンラインイベントを含めたさまざまなイベントを通して航空の魅力を伝えていきます。そして『国土交通省主催の「航空整備士・操縦士の人材確保・活用に関する検討会」に参加し』、航空整備士・操縦士に関して「現在のリソースの有効活用」「養成・作業の効率化」「裾野拡大」を重点テーマに取り組んでいきます。事業計画の詳細項目は、次頁の表をご参照ください。

「事業の改善と見直し等による財務の健全化」では、会員の高齢化などに伴い、慢性的な有料会員の減少や、新型コロナウイルス感染症蔓延時に退会者が増加し、主たる収益の会費収入が落ち込みました。一方、感染症対策で外部会議室確保などの経費や IT 化推進費用もかさみ、3期連続の赤字決算が続きました。昨年度より収支改善プログラムを実施し、収益の改善を図っていますが、道半ばという状況です。今年度も収支改善の施策を継続し、新規会員の獲得、発行書籍の値上げなどで収益増を目指し、会議体・イベントの Web 化、主催イベントの一部凍結、縮小、管理費削減で経費の削減に努め、収支構造の転換を図ります。

収支改善の一環として今年度より終身会員制度を見直し（終身会員取得年齢を60歳から65歳に引き上げ）、来年度（2025年4月1日）より会費の値上げを実施します。

会員の皆さまにはご負担をおかけすることになりますが、協会が公益法人として航空界へ今後も継続して貢献できるよう、ご理解を頂きご協力賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人である本協会の事業は公益目的事業とその他の事業に分類され、更に公益目的事業は事業の性格より2つに分類され内閣府より認定を受けています。

公1：航空の安全文化の普及と諸般の調査研究を対象としている事業

公2：運航の安全に資する知識の向上と情報提供及び調査研究を対象としている事業

他：本協会の目的を達成するために必要な事業

	定義に定める事業	事業計画	区分
1	航空の安全文化の普及と啓発	小型航空機セーフティーセミナー TEM/CRMセミナー、SRMセミナー、出張セミナー 航空安全講習会、RNAV講演会 ATSシンポジウム、航空気象シンポジウム	公1
		Fly with us ～空の仕事ワークショップ～ Be a pilot、キッズ Be a pilot（こども航空教室）	公1
		航空安全セミナー、航空医学適性セミナー	公1
		FTDとポータブルFTDを利用した裾野拡大	公1
		航空スポーツ事業（FAI関連イベント参加等）	公1
		外部団体等主催委員会・研修 委員・講師派遣	公1
		「航空機操縦士養成連絡協議会」 「航空整備士・操縦士の人材確保に関する検討会」	公1
2	安全対策（制度と運用）	「羽田空港衝突事故対策検討委員会」 「小型航空機等に係る安全推進委員会」 「空港安全技術懇談会」「VOICES分析委員会」 「航空管制等英語能力証明検討委員会」 「航空身体検査証明審査会」「航空身体検査 Q&A」 等々	公2
3	情報（知識）の伝達と提供	学科試験問題検討会	公2
		参考文献及び教材提供 「区分航空図」「学科試験スタディガイド」「AIM-J」 「TAKE OFF」「ヘリコプター操縦教本」 「パイロット手帳」「TEM/CRM」「HIMSガイダンス」 「ヘリコプター運航動画」等	公2
		航空情報提供 「ホームページ」「パイロット誌」「E-journal」 「メールマガジン」「JAPA Air Book」 「ATC Communication Handbook」「SNS」	公2
4	技術習熟の支援	FTDを使用した技術習熟支援 「ワンポイントレッスン」等	公2
5	情報収集と調査研究	・航空業界における情報収集と諸研究のフィードバック ・FTDを利用した調査研究への協力 ・無人航空機と有人航空機との安全性の確保に関する調査、研究	公2
6	その他、本協会の目的を達成する為に必要な事業	福利厚生（LOL制度、法律相談、百貨店・書店・レストラン・宿泊施設等の割引利用） 寄付金制度・クラウドファンディング	他
		表彰関連事業	他

会費額改定について

専務理事 池田 晃二

◆会費額改定が議決されました

6月21日の第59回通常総会にて、会費額改定に伴う会員規程の一部変更が議決されました。具体的には2025年4月1日より、正会員・賛助会員 Aは、年額20,400円(4月に一括納付の場合は年額20,000円)、準会員・賛助会員 Bは、年額7,200円(4月に一括納付の場合は年額7,000円)に改定されます。(詳細は、JAPA ホームページに掲載されています。)

◆なぜ、会費額改定が必要なのか

協会の健全かつ安定的な運営を堅持する財務基盤を維持するためです。慢性的な有料会員の減少と新型コロナウイルス感染症拡大の影響による退会者の増加、外部会議室確保などの感染症対策の経費の増加、同時期に IT 推進した経費などにより、2年程前から財務状況が急速に悪化し、3期連続の赤字決算となりました。特に現金預金の減少は著しく、特定資産を2年連続取り崩すことで運営を維持しています。昨年度より収支改善プロジェクトを立ち上げ、新規会員獲得や書籍刊行物の値上げなどで収入増を図り、会議体の Web 化、イベント会場の縮小や一部イベントの凍結などで事業費と管理費の削減を実施し、今年度までの現金は確保できました。しかしながら、今後も年間約3,000万円のキャッシュフロー（現金や預金の流れ）の改善が永続的に必要です。現在実施している収支改善策には、単年度に限り有効な施策もあり、毎年1,000万円規模の不足が見込まれます。その結果、継続的に事業縮小・凍結を余儀無くされ、協会が公益法人として航空界への責務を果たせなくなります。これ以上の有効な収支改善策が見出せない中で、追加策として会費の改定が必要と判断しました。

◆会費改定の効果と合理性

今回の会費改定により1,200万円強の増収が見込まれ、中長期的な収支構造の改善ができます。また、会費の改定は32年ぶり、今回の値上げ率が約13%で当時からの物価上昇率約20%と比較しても妥当と考えます。

◆終わりに

会費額改定により会員の皆さまには、ご負担をかける事になり、お詫びを申し上げます。今後も収支改善施策を継続して行い、協会の財務状況の改善を図ります。JAPAが健全な財務体質を維持し、公益法人として航空界へ貢献し、また後輩たちの育成のためにも、ご理解を頂きご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

決算概要

	年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
		2020年	2021年	2022年	2023年
予算	経常収益	136,156	133,738	130,383	130,738
	経常費用	156,348	155,370	180,260	172,803
決算 収益 / 費用	経常収益	133,423	128,446	127,626	129,988
	経常費用	123,711	134,874	170,668	161,240
	経常増減	9,712	-6,428	-43,042	-31,252
	総収益	133,423	128,446	127,626	129,988
	総費用	123,711	134,874	170,668	161,240
	総増減	9,712	-6,428	-43,042	-31,252
正味財産	正味財産増減	9,712	-6,428	-43,042	-31,252
	正味財産残高	168,763	162,335	119,293	88,041
収益内訳	会費収益	99,940	93,997	92,203	90,602
	その他収益	33,483	34,449	35,423	39,386

2024年度予算概要

	2023年度決算	2024年度予算	差額	前年決算対比
受取会費	90,602	91,064	462	101%
事業収益+雑収益等	39,386	48,993	9,607	124%
収入計	129,988	140,057	10,069	108%
事業費	63,044	59,371	-3,673	94%
管理費	98,196	86,832	-11,364	88%
支出計	161,240	146,204	-15,036	91%
経常増減	-31,252	-6,147	25,105	20%
期末正味財産	88,041	81,893	-6,148	93%

第59回通常総会開催報告

2024年6月21日(金)に航空会館B101号会議室にて、第59回通常総会を開催致しました。今回は諸般の事情から、総会後の懇親会は中止致しました。なお、総会に先立ち、当協会会員の中で特に功績があったと認められた6名に対し、協会長表彰の授与式を行ないました。

当日午後3時10分ごろ、議長である進俊則会長より開会宣言が行われ、事務局から定款第18条の代議員の定数を満たしていることから本総会が成立している旨の報告がなされました。

(代議員総数50名：開始時点の実出席者27名・議決権行使書提出者22名・欠席者1名)

冒頭、進会長より「2021年から3期連続の赤字が続いており、今年度予算でも約600万円の赤字と厳しい財政状況が続いているが、今年度決算においては黒字を目指す。結果として、ここ2、3年のIT投資・業務コンサル導入が過大であったことに加え、コロナ禍による影響、継続的な会員減少による長期的収入減少が重なった複合的な要因による事態と捉えている。昨年度より収支改善プロジェクトにより、さまざまな対策を実施してきており、今後徐々に効果が現われてくるが、長期的には本日の第2号議案である会費額改定が避けて通れないことがわかってきた。本日は、何とか皆さんの理解・賛同を得たいと思っている」との挨拶があり、議案の審議が開始されました。

議案

審議事項

- 第1号議案 「令和5年度事業報告及び決算報告について」
- 第2号議案 「会費額改定について」
- 第3号議案 「定款の一部変更について」
- 第4号議案 「役員を選任について」

報告事項

「令和6年度事業報告及び予算について」が報告されました。

それぞれの議案について寄せられた代議員からの質疑に対し業務執行理事が対応し、上記審議事項4件の議案については、全て賛成多数にて承認されました。





第60期業務執行理事紹介



①趣味・特技・最近ハマっていること ②今までで一番感動した場所・その理由 ③抱負

会長 進 俊則



- ①本来の意味での酒池肉林（誤解なきよう）。B級グルメ焼鳥好物。Amazon primeで映画、TV、ドラマをカウチポテト。
- ②ホノルル線の太平洋上で迎える夜明け、刻々と変化する色のグラデーション、正面から昇る太陽。何度見ても美しいの一言。その後は眩しいだけです。（笑）
- ③各種事業を維持しながら、必ず健全な財務状態に回復させますので、会員の皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。

副会長 田中 康浩



- ①趣味は、夫婦で友人達とゴルフをすること。特技は、旅客機の操縦。最近ハマっていることは、航空医学分野の勉強と規制緩和を進めること。
- ②ニューヨーク JFK Airport 国際線のラストフライト時の家族の搭乗と空港スタッフの対応、そして消防車の放水アーチの中の TAXI。
- ③微力ながら、航空界へ貢献したいと思います。

副会長 大澤 一朗



- ①トレッキング（最近は登れていません…）
- ②剣岳山頂からの雄大な景色
- ③コミュカの向上

副会長 畑辺 三千夫



- ①免許取得から3年…バイクでツーリング。青春時代にやり損ねたフォークギター（レッスン3年…一向に上達せず…苦笑）
- ②イーストリバー 越しに見る NYC 摩天楼（The ニューヨーク!）
- ③裾野拡大活動を通して未来の航空を担う人材を育てるとともに、喫緊の課題である収支改善に取り組みます!

常務理事 安藤 尚敏



- ①ゴルフ（上達のために常に研究をしています）
- ② Steven F. Udvar-Hazy Center（ワシントンダレス）
- ③今期で4期目となります。JAPAビジネス航空委員会では、ドローンや空飛ぶクルマなどの出現により低高度空域をいかに安全に維持していくかを課題に、引き続き航空安全に寄与できるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。

常務理事 小野 和彦



- ①ゴルフ、ウィングサーフィン、SUP
- ②茨城県のとある田んぼの畦道。薬剤散布のあと、農家の人が作ってくれたおにぎりを食べて、こんなにお米が美味しいんだと感激!!!
- ③会員間の、経験の共有とコミュニケーションを促進し、経験や知見を積極的に共有し、相互に支え合う文化を育てていきたいと思っています。

常務理事 早乙女 一成



- ①豆から挽きたてのコーヒーにお湯を注いだ時の膨らみにハマっていますが、まだ焙煎には手を出していません。最近ピックルボールというスポーツを始めてみました。
- ②美女平、阿蘇山。測量フライト中に見た景色が素晴らしかった!
- ③小型航空機の航空安全に寄与できますよう微力ながら頑張っていきたいと思っております。皆さまよろしくお祈りいたします。

常務理事 管 聖



- ①ジョギング、食べること。
- ②屋久島、大自然。
- ③健康でいること。

常務理事 山村 洋司



- ①食べ歩き・ステイ先での半身浴・YouTube。
- ②カナダ上空で見たオーロラ。オーロラが躍動する龍の如く、動いていた。
- ③ JAPAの公益目的事業である、航空文化の普及と啓発、安全対策、情報伝達の提供、情報収集および調査研究、技能習熟の支援に対し、前期から引き続き JAPAの乗員養成検査委員会、学科試験問題検討会、広報活動を通して皆さまのお役に立てるように、引き続き努力していきたいと思います。よろしくお祈りいたします。



新任理事紹介・第60期役員表



常務理事 大里 将之

この度、常務理事を拝任致しました大里将之です。2018年より理事、エアラインおよび広報企画委員会にて活動しております。

所属は国内エアラインにて旅客機や貨物機の運航に携わっています。

10年程前、所属先にて現在の池田専務理事と早朝に帰国する北米線にて共に乗務する機会があり、帰宅後そのまま昼から JAPA の会議に出席するというお話を伺い、運営委員や理事の皆さまは大変な活動をされているとの印象をもっており、理事を引き受ける際は戦々恐々としておりました。

早いもので理事を拝任してから6年が経ちますが、この間を振り返りますと、コロナ渦の影響もあり、協会を取り巻く情勢も大きく変わり、決して楽観できる環境ではないと肌身をもって感じております。今般、常務理事を務めさせて頂くことになり、さらに気が引き締まる思いですが、引き続き JAPA が各種事業を安定して行っていくために、会員の皆さまへ情報発信をしっかりと行い、アドバイスを頂きながら知恵を出し合って前進していければと考えています。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。



監事 林 讓治

皆さま、はじめまして。この度 JAPA の監事役を拝命いたしました林讓治です。私は航空大学校を卒業後、民間航空会社に就職して44年間で1万8千時間余りの飛行時間を有し、2022年に退職いたしました。在任中は小型機の操縦訓練から機長養成まで主に訓練業務を担当しておりました。

退職後は私立大学の航空関連分野の教員を務め、現在に至っています。

慣れない監事の仕事ですが、航空の安全のため、そして何より会員の皆さまのサポートが出来るように、微力ながら努力してまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

第60期 役員表

会 長	進 俊則
副 会 長	田中 康浩
副 会 長	大澤 一郎
副 会 長	畑辺 三千夫
専務理事	池田 晃二
常務理事	安藤 尚敏
常務理事	大里 将之(新任)
常務理事	小野 和彦
常務理事	早乙女 一成
常務理事	管 聖
常務理事	山村 洋司
理 事	安東 広壮
理 事	五十嵐 教夫
理 事	板垣 英樹(新任)
理 事	植田 展生
理 事	慶田 竜也

理 事	櫻井 玲子
理 事	佐野 克彦
理 事	須山 忠
理 事	高橋 清彦
理 事	多賀 敬祐
理 事	田中 天兵
理 事	鶴川 健司
理 事	中田 浩司
理 事	本田 厚
理 事	真木 賢一
理 事	三浦 雄児
理 事	三好 恒紀
理 事	若谷 哲也
監 事	中島 一郎
監 事	林 讓治(新任)

航空スポーツ教室 in 三田図書館 出展報告

ジェネラル・アビエーション委員会

日本航空協会(JAA)は、子供たちに航空スポーツを安全に楽しむ機会を提供することによって、空への憧れや科学する心、自然に親しむ心を醸成することを目的に、理論と体験を組み合わせた航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」を2003年から企画・開催しています。これまでは公園や学校など屋外で行われてきましたが、第51回は、札の辻スクエア(三田図書館)で3月30日に開催されました。(<https://www.aero.or.jp/sports/experience/skykids/>)

11階の大ホールとエントランスでは、事前に申し込みをした小学生(午前15名/午後20名)が、ゴム動力模型飛行機の製作と飛行、フライトシミュレーター、ラジコン操縦シミュレーター、コックピットVR動画を体験しました。また、入場自由の図書館6階の集会室では、JAA傘下の航空スポーツ統括8団体がパネルや装置を展示し、熱気球原理体験、模型航空機展示、パラグライダーVR体験、マイクロライト模型展示、パラモーターユニット装着体験、人力飛行機トレーナー体験などが実施されました。

JAPAからは以下のような内容で、田中理事、三浦理事、植田理事、小中GA委員が担当しました。

☆ポータブルフライトシミュレーター

旅客機や軽飛行機の操縦、離着陸を約10分間体験。

☆コックピットVR動画

A320シミュレーターやグライダーで撮影したパイロット目線の180°動画を、VRゴーグルで視聴。

☆ジェット旅客機の外部点検

機長の出発前の確認の外部点検を模擬し、B767の映像を参照しながらクイズを交えて紹介。

☆操縦してみたい航空機(パネル展示)

ファイター、軽飛行機、エアスポーツ機、ライトジェット、水上機、ヘリコプター、飛行船、旅客機、グライダーから、操縦してみたい航空機を選んでシールを貼って投票。



シミュレーター体験



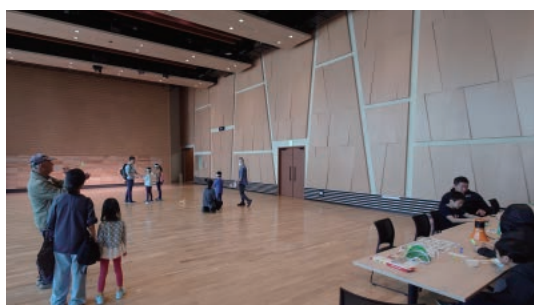
コックピットVR体験



パネル展示

当日は天気も良く桜も満開で、図書館来場者が多くはなかったため、屋内開催の試行は混乱もなく、子供たちにゆっくり楽しんでもらうことができました。

札の辻スクエアは、区立産業振興センターと三田図書館の複合施設で、「産業」と「学び」を支える新たな拠点として2022年4月にオープンしました。JAPAがある港区の公共施設でもあり、交通の便が良い都心の施設で出展したことを足掛かりにして、航空の裾野を広げる今後の活動に役立てていければと思います。



模型飛行機教室



航空スポーツ機材展示

Be a pilot オンラインセミナー実施報告

エアライン委員会 田中 天兵

● Be a pilot オンラインセミナーとは？

Be a pilot は、「若い人にパイロットの魅力を届ける」ことを目的とした JAPA の活動の総称です。その中でもオンラインセミナーは Be a pilot のメインイベントです。年に1度のペースでイベントを実施しており、2024年3月16日に第3回目が開催されました。当日は裏方のサポート役を担当した筆者が、この場をお借りして当日の様子を報告いたします。

オンラインセミナーは、現役のパイロットが座談会を行う様子を YouTube にてリアルタイム配信しました。ターゲットとする年代は小学生から大学生までの世代です。画面越しではありますが、パイロットが顔を出して生の声を視聴者に届けました。さらに、その場で寄せられた質問に対してリアルタイムに答えていく質疑応答の時間を用意（たっぷり1時間!）し、視聴者である若い世代の皆さんと現役パイロットで双方向のコミュニケーションを取ってもらいました。これらを通じて、若い世代の人にパイロットを身近に感じてもらうことを目的としています。

●今年のテーマは「私立大学の操縦学科ってどんなところ？」

第3回目となった今回のテーマは、パイロットのライセンスを取得するための私立大学に焦点を当てることにしました。これまでのセミナー参加者からもらった質疑やアンケート結果において、私立大学に関する関心が高いことが分かりましたので、視聴者の興味を反映してテーマを選定しました。

せっかく私立大学をテーマに取り扱うのであれば、ぜひ現役の操縦学科所属の学生にも出演していただきたいとの思いがあり、大学関係者の皆さまに協力を募ったところ、今回は東海大学と桜美林大学からそれぞれ1名の学生に出演していただけることとなりました。当日は JAPA エアライン委員会所属の機長が司会として座談会を進行し、現役学生から実際の私立大学での訓練の様子や学生生活についての話を紹介してもらうスタイルとなりました。

（※パイロットのライセンスを取得するための学科名称は各大学により異なりますが、ここでは一般的な呼称として「操縦学科」という表現で統一させていただきます。）



緊張感漂う配信中の様子

●当日のトーク内容

実は司会の三浦さんは航空大学校出身。私立大学との比較になれば、ということでもまずは航空大学校の紹介から始まりました。「座学を終えてわずか3週間もしないうちに、自分でプロペラ機を操縦して着陸をするようになるので、最初はとても緊張します」という臨場感のある話などを紹介していただきました。

東海大学に在学中の竹田さんからは、ご自身の授業の時間割や同期や先輩後輩との付き合い方について紹介していただきました。アメリカ人の担当教官とは今でも連絡を取り合っていたり、初めてのソロフライトの後に先輩も後輩もお祝いに駆けつけてくれた、など周囲の人との仲の良い雰囲気が伝わってきました。

桜美林大学に在学中の大島さんからは、主にアメリカでの訓練の様子を紹介していただきましたが、桜美林大学の訓練委託先は世界各国から訓練生が集まる大きな規模の訓練所だそうで、そういった人たちとの交流もあるという話が紹介されました。

私立大学のお二人は飛行訓練をアメリカで受けたので、休日にはリフレッシュのために旅行したり本場のアメリカでスポーツ観戦をするなど、充実した学生生活を写真付きで紹介していただきました。訓練所の様子や同期とメジャーリーグ観戦をしている写真などの連続で、視聴者の方もきっと目が釘付けになっていたことと思います。

大学での生活を紹介した後は、大学での基礎課程訓練と航空会社でのライン訓練の違いとして、「機長と副操縦士でチームとして協力してフライトをしていくことが求められる」というような話もあり、エアラインパイロットになるための道筋を紹介することもできました。



実際の配信画面。左から司会の三浦さん(B737機長)、桜美林大学 大島さん、東海大学 竹田さん。
学生のお二人は卒業を間近に控えた4年生

● 質疑応答でのやり取り

プログラムの後半は丸々1時間を使って質疑応答の時間です。YouTube Liveでの配信でしたので視聴者がチャットに質問を書き込み、出演者がその質問に次々に答えていきます。時間内にいただいた57問全てに答えることができました。どのようなやりとりがあったのか、以下にいくつか紹介していきます。

Q. 飛行機を操縦していて1番嬉しかったのはどんな時ですか？

「ソロフライトに出た時です。緊張しましたが一人で飛ばしているという感覚がとても嬉しかったことを覚えています」

Q. 大学の入試で簡単なシミュレータの試験があるようですがどんなことをするのですか？

「難しいことはありません。真っ直ぐ飛んだり、曲がってみたりします。でも上手くできているのか自分では全くわかりませんでした」

Q. パイロットに必要なものはなんだと思いますか？

「コミュニケーション力だと思います。フライト後の振り返りでは、自分から積極的に質問していくことでより多くのことが得られたと感じています」

Q. 入試の英語面接ではどんなことを聞かれますか？

「今日はどうやってきたの？ご飯は何食べるの？といった日常会話でした。話そうとする意欲を見せることが大切だと思いました」

Q. 勉強の際の習慣はありますか？

「一人で勉強するよりも3、4人で一緒に勉強するようにして、わからないことを質問しあったりして勉強しています」

Q. 大学入学時と卒業を控えた今では心持ちの変化はありますか？

「大学入学時は飛行機を操縦したこともなかったのですが、これからはお客様を乗せて飛行機を飛ばすんだという責任を感じつつあります」

Q. パイロットを目指したきっかけはなんですか？

「親に航空ショーに連れて行ってもらってカッコいいと思ったことです」

Q. 他の大学から東海大学や桜美林大学へ編入する方はいますか？

「結構います。他の大学だけではなく社会人を経験してからくる方もいます」

Q. 訓練で仲間と馴染めなかったことはありますか？

「ありません。意見がぶつかり合うことはありましたが、たくさん話をすることで乗り越えてきました。訓練をしていけば必ず仲が良くなると思います」

● Be a pilot オンラインセミナーを終えて

今回は初めての試みとして、現役のパイロットに加えて私立大学で学ぶ学生を交え、私立大学の訓練の様子や学校生活、大学卒業後のエアラインでの訓練との違いなど、多くの情報と魅力を届けることができました。なによりもボランティアでオンラインセミナーに出演してくれた学生の二人に感謝をお伝えしたいと思います。今回出演してくれた学生は二人とも卒業式と入社式を間近に控えた忙しい時期にも関わらず、将来パイロットを目指す若者に向けてたくさんのメッセージを届けてくれました。準備をたくさんしていただいたことも想像に難くありません。本当にありがとうございました。

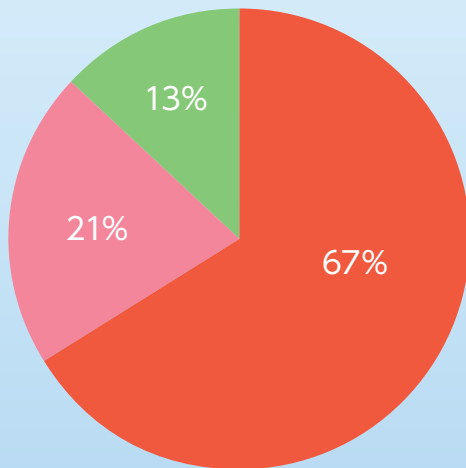
セミナーの中で学生の二人の口から「同期や先輩後輩の繋がり」というキーワードが何度も出てきました。「『人との繋がり』がパイロットとして自分を成長させてくれている」ということを彼ら自身が身をもって経験しているからこそ、次の世代へバトンを渡すために今回の出演を快く引き受けてくれたことと思います。今回のイベントには出演していただいた方のみならず、多くのパイロットが携わりました。全員が若い世代にパイロットの魅力を知ってもらい、将来パイロットを目指して欲しいと願っています。このイベントを視聴してくれた人には私たちのバトンが渡ったと信じております。きっと今回の視聴者の中から将来のパイロットが生まれてくるでしょう。質疑応答の中で「パイロットを目指したきっかけはなんですか?」という質問がありました。いつの日か「パイロットを目指したきっかけは、Be a pilotのオンラインセミナーを見たことです」と答えるパイロットがこのセミナーに出演してくれる時が来ることを心待ちにしています。



出演者の3名と当日の配信をサポートしたメンバー

アンケート結果

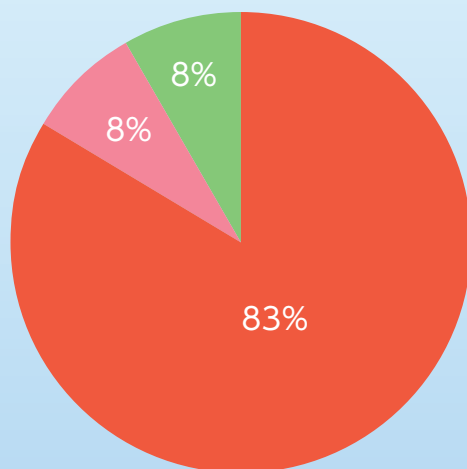
今回のイベント通じてパイロットを身近に感じられるようになりましたか？



(単位:人)

● とても感じられた	……	16
● 感じられた	……	5
● 変わらない	……	3
● 感じられない	……	0
● 全く感じられない	……	0

今回のイベントを通じてパイロットを志望する気持ちは強くなりましたか？



(単位:人)

● とても強くなった	……	20
● 強くなった	……	2
● 少し強くなった	……	2
● 変わらない	……	0
● 弱くなった	……	0

今回のオンラインセミナーの感想を記載してください

- 実際の学生に気軽に質問できたのが嬉しかった。
- 質問に答えてもらえて嬉しかったです。
- 私大と航大と両方比較しながら見れて良かったです。
- 大変だとは思いますが、ターゲットの年代を明確に分けた方がもっと質問と回答がクリアになって、より充実した座談会になるのではと思いました。ただ今回の内容でも大満足でした。ありがとうございます。
- 高校卒業後にどういった方向性でパイロットを目指すかが今回の座談会で明確になりました。これからもこのような貴重な時間がありましたら、参加させていただきますのでよろしくお願いします。
- 卒業とライセンス取得までに実際にかかった学費や生活費などについてもう少し詳しく聞きたかったです。
- 大学生の生の声が聞いてよかったですと思います。
- 私大生のリアルなトークが身近に感じ、将来の計画を立てるうえで参考になりました。
- 現役のパイロットの方や操縦学科の学生のお話が聞ける大変貴重な機会となりました。航大や私大のことについて知りたかったので、良かったです。いろいろと質問にも答えて下さり、知りたいことも知ることができました。ありがとうございました。
- 大学に入ってからの流れがわかりやすかったです。
- とても面白かったです。三人のパイロットの方々に質問に丁寧に答えていただけだったので、自分の聞きたい事も聞けました。

今後開催してほしいイベントがあれば記載してください

- 女性パイロットの方にもお話を聞きたい。
- 入試相談会
- 現役パイロット、グランドスタッフさんのお話も聞いてみたいです。
- 機長と若手副操縦士のトークイベント
- 大手航空会社のパイロット、貨物便のパイロット、観光用のセスナパイロットなど、さまざまなパイロットの現場だったり、それぞれの良さなどを聞けたら嬉しいです。
- 毎年開催していただきたいです。内容は毎回違ってよいですし、他の大学の方などゲストを変えても楽しいと思います。私大に合格するまで参加していきます！
- 今後も航大・私大の方の企画があると嬉しいです。
- 私大ではなく、航空大学校からパイロットになるルートについて体験談を交えながらもっと詳しく説明する企画をやってほしい。
- 今後も現役のパイロットと話すイベントや採用担当のパイロットの方に質問したいです！



Fly with us ～ OKA (沖縄)

エアライン委員会 三浦 雄児

こんにちは。沖縄支部長の三浦です。2024年6月8日に沖縄で開催されたFly with us ～空の仕事ワークショップ～のご報告を致します。



琉球大学千原キャンパス入り口

会場は琉球大学千原(せんばる)キャンパス文系講義棟を使用させていただきました。「Fly with us」はJAPAが主催する航空の裾野拡大イベントの一つで、航空関係の仕事に興味を持ってもらうというイベントの目的を明確にするため「Yes I Can航空教室」から名称を変更したものであります。今回は小学生から大学、専門学校生まで53名のみなさんが参加してくれました。内容は、前半が各講師からのお仕事紹介、後半が各講師を囲んでのグループディスカッションです。日本トランスオーシャン航空株式会社、JALスカイエアポート沖縄株式会社、国土交通省大阪航空局那覇空港事務所のご協力をいただき、操縦士、客室乗務員、旅客担当者、航空管制官として働く各講師から、スライドを用いて仕事の紹介、そして後半のディスカッションでは参加者からのいろいろな質問に答えていただきました。



講師から仕事についてのお話

初めに、どの職種に興味があるかを挙手してもらったところ(複数回答あり)、パイロット16名、客室13名、旅客9名、管制11名でしたが、会の終わりでは、パイロット22名、客室30名、旅客26名、管制30名の手が上がりました。



講師を囲んでディスカッション

実際にその仕事をしている人から話を聞くことで、将来自分が働くイメージを少しでも持ってもらえたのではないかと思います。

「Yes I can 航空教室」時代にこのイベントに参加した当時の高校生、大学生が今、航空業界で活躍しているという話を近ごろ何件かお聞きしました。今回の講師の中にも数年前にこのイベントに参加したという方がおられ、うれしい限りです。

今回、小学生の参加もありましたが、みんな最後までしっかり話を聞いてくれました。具体的な仕事の紹介など、小学生には少し難しい部分もあったかと思いますが、イベント全体を通して何か感じて

らえたのなら良かったのではないのでしょうか。

来年、再来年の業界の人材不足にすぐ効果があるイベントというわけではありませんが、5年後、10年後、きっと今回の参加者の中からも、空の仕事を支える人材が出てくるはずですよ。

今年は琉球大学のご協力で、例年より多くの参加者を受け入れることができました。来年以降も、より規模を拡大しながら「Fly with us ～空の仕事ワークショップ～」を開催して参りたいと思います。

講師の皆さまはじめ、関係各所の皆さま、ご協力いただき誠にありがとうございました。



参加者のみなさんと集合写真

第21回小型航空機セーフティセミナー開催報告

ビジネス航空委員会

小型航空機セーフティセミナーは、「ヘリコプターセミナー(1979～2003年)」および「操縦士の教育・指導者講習会(1991～2003年)」を1つにまとめて、2004年から開催されています。

2023年度の小型航空機セーフティセミナーは、22年度に続いて実開催とオンライン配信を併用したハイブリッド型で開催し、2日間で合計253名に受講いただきました。実開催のステーションコンファレンス川崎会場では、座席間隔を通常に戻して定員を増やし、参加者の交流の機会を増やしました。下記の通り多岐にわたる講演をいただき、小型航空機運航関係者にとって、知識拡充の一助となることができたと考えています。

今後も、本セミナーの原点である「事故から学ぶ」を忘れずに、安全性向上のための有効な機会を提供してまいります。

◆プログラム

2/8 (木) 13:00～17:30 小型航空機セーフティセミナーⅠ

1	航空局基調講演	国土交通省航空局安全部 安全政策課長 石井 靖男 氏
2	小型航空機用 FDM 導入ガイドライン	国土交通省航空局安全部安全政策課 小型航空機安全対策官 佐孝 昌平 氏
3	SWIMの導入計画等	国土交通省航空局交通管制部運用課 航空管制運航情報調査官 飯田 真哉 氏
4	冬の突風事象 ～目に見えない航空悪天の着眼点～	株式会社ウェザーニューズ 航空気象チーム 飯島 栄一 氏、東 衣里香 氏
5	安全で効率的な運航を実現するためのノンテクニカルスキル	慶應義塾大学理工学部管理工学科 教授 中西 美和 氏

2/9 (金) 10:00～16:00 小型航空機セーフティセミナーⅡ

6	実地試験等について	国土交通省東京航空局保安部 航空従事者試験官 宇野 嘉高 氏
7	運航審査等について	国土交通省東京航空局保安部 運航審査官 岩崎 幸弥 氏
8	航空事故調査報告書から	運輸安全委員会 事務局 航空事故調査官 田上 啓介 氏
9	トヨタ自動車で経験した安全の考え方	元 Toyota Motor Manufacturing Poland 副社長 梅原 章 氏
10	小型航空機用 FDM のためのツール開発	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 船引 浩平 氏

◆2024年度 開催予定

2024年度の小型航空機セーフティセミナーは、2025年2月の開催を予定しています。会場やプログラム、受付開始時期などの詳細は、JAPA メールマガジンなどでお知らせいたします。講演内容やセミナーに関するご要望などがございましたら、事務局へメールにてご連絡ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



熱心に聴講する参加者



川崎会場での講演

ご寄付のお願いについて

わが国航空の発展を目的とする当協会の事業活動にご理解とご賛同をいただき、ご寄附をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。皆さまからお預かり致します寄附金は、当協会の「寄附金取扱規程」に則り、有効に使用させていただきます。

※ 当協会は平成24年4月1日内閣府より「公益社団法人」としての認定を受けておりますので、当協会への寄附金には寄附金としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の損金算入限度額の特例が受けられます。〔寄附金の種類〕当協会の寄附金は、次の3種類があります。

一般寄附金	用途を特定せず常時募金活動を行うことにより受領する寄附金です。寄附金額の50%以上を公益目的事業に使用します。
特別寄附金	寄附者が資金用途および管理運用方法について条件を付けることができる寄附金です。*金銭のほか、金銭以外の財産権(有価証券等)を含みます。
特定寄附金	広く一般社会に用途を特定して一定期間募集活動を行うことにより受領する寄附金です。この場合、適正な募集経費は募集総額の30%以下とします。

「お申し込み方法」「お申込み口座」「領収書の郵送」「税制優遇について」につきましては、QRコードより JAPA ホームページをご参照ください。

ホームページ
「寄付のお願い」



寄付型クラウドファンディング 実施報告

子どもたちの空への夢を育むフライトシミュレーター存続にご支援ください

JAPA_JAPA ソーシャルグッド

現在の支援総額
1,636,000円
目標金額は2,500,000円

支援者数
101人

募金終了まで残り
終了

プロジェクトを支援する

フライトシミュレーターを従って、子供達にパイロットになる夢のきっかけや、パイロットを目指す学生さんに操縦体験機会を提供しています。ところがこの装置は精密機械の塊で維持費が高く大赤字で存続の危機！！未来の日本の空を変えていく人達へのサポートが続けられるよう、皆様からの継続的なご支援をお願い致します。

今回、JAPAの活動の核でもある「子ども、青少年向けのパイロット裾野拡大」「操縦技術指導」に重要な役割を担っている「フライトシミュレーター」の施設存続をご支援いただきたく、クラウドファンディングを実施させていただきました。

支援額は最終的に1,636,000円となりました。支援者の皆さま、プロジェクト拡散にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

JAPAではこれからも子どもたち、学生たちへの航空業界裾野拡大活動に尽力して参ります。

皆さまのご理解と温かいご支援、心より感謝申し上げます。

支援総額：1,636,000円
支援者数：101人

今年からWEBによる加入手続きがスタートします

スマートフォン・パソコンからいつでも、どこでも簡単手続き！
ログイン方法など詳しくは1月に郵送される協会からの案内をご確認ください

日本航空機操縦士協会 会員の皆さまへ

JAPA団体保険のご案内

団体割引15%適用で加入しやすい保険です

団体割引
15%

68才
まで補償

最長68才(タイプG、H)までの収入減少を補償します！

制度その1

団体長期障害所得補償保険制度

(団体総合生活補償保険 傷害補償(MS&AD型)特約・所得補償特約セット、団体長期障害所得補償保険)

- この制度は、私たちがケガや病気によって長期にわたり仕事ができなくなった場合に、私たちの収入を補償する制度です。
- タイプG、Hにご加入の場合、最長68才まで就業障害による収入減少を補償します。



国内・国外を
問わず補償します

安心して働いて
いただくために



ケガや病気で仕事ができない間、
最長68才まで補償を継続して
受けることができます

制度その2

団体総合補償制度

(団体総合生活補償保険 傷害補償(MS&AD型)特約、がん補償特約、疾病補償特約セット)

- ケガ、病気、賠償責任などのさまざまなニーズに対応し、皆さまの健康を応援します。
- がん保険・医療保険は、ご家族のみでも加入できます。

- ◆お申込締切日 : 2024年(令和6年)2月14日(水)
(中途加入も可能です。詳細は取扱代理店までお問い合わせください。)
- ◆お申込先 : 株式会社JALUX保険サービス
- ◆保険期間(ご契約期間) : 2024年(令和6年)3月1日午後4時から1年間
- ◆保険料払込方法 : 口座振替(2024年(令和6年)5月より毎月27日に引き落とし)
※金融機関が休業日の場合は、翌営業日 ※株式会社アプラスより集金代行いたします
- ◆中途加入および期中の変更 : 毎月20日締め、翌月1日変更

公益社団法人日本航空機操縦士協会

法人賛助会員 会社紹介

●株式会社 ZIPAIR Tokyo

私たち ZIPAIR は、これまでのフルサービスキャリアでも、ローコストキャリアでもない、新しい基準を作る、「NEW BASIC AIRLINE」を目指しています。「NEW BASIC」には、単にコストコントロールを行うだけではない、日本の航空会社ならではの細部まで配慮する美意識を持ちつつ、体感時間を短くする新しいエアラインを創っていくという想いを込めています。「お客さまにとってちょうどいい納得感のあるサービス」「お客さまが自分らしく楽しめる気持ちよさ」をご提供したいと考えております。

確実な安全運航を大前提に、お客さまを正確に目的地へ届ける定時性と、高いクオリティーのオペレーションを提供していきます。ZIPAIR は JAL グループの安全基準で、社員一人一人が安全のプロフェッショナルとしての使命と責任のもと、お客さまに安全で快適な移動体験を提供しています。



●スプリング・ジャパン株式会社

私たち SPRING JAPAN は、2012年9月に設立された成田空港を拠点とする日本の航空会社です。2014年8月の就航以来、成田空港を拠点に中国各地を結ぶ国際線と日本の国内線のネットワークを展開しています。

企業理念である、「安全・誠意・笑顔が自然に溢れる会社を目指します。世界を笑顔でつなぎ、人々の交流促進と地域活性化に貢献します。」の実現に向け日々取り組んでいます。

ロゴには、企業理念のキーワードである、「安全、Safety」・「誠意、Sincerity」・「笑顔、Smile」の頭文字である3つのSを組み合わせています。

今後も、春秋グループ・JALグループ双方の強みを最大限に生かしたLCCとして、成田空港から、日本・中国、そして世界をつなぐ架け橋となるべく成長し続けます。



●医療社団法人 東翔会

当法人の前身である立山内科医院は、大阪伊丹国際空港開港10年後の1966年に伊丹市に生まれました。地域医療に貢献することを目指し始まり、その後も疾病予防及び健康の保持増進に寄与することを目的としています。現在では、東京都千代田区に『永田町つばさクリニック』を開設し、『立山内科医院』とともに、現役のパイロットや将来パイロットになることを夢見る若者の健康管理もおこなっています。今後もよりよい医療サービスを提供し、他の医療機関と連携し『空の安全』の一役に奉仕してまいります。

『生涯飛翔』これが私の座右の銘です。これには2つの意味があり、1つは「この世に治すことのできない病気はない。それがあるのは、医師の勉強不足が原因である!」という先輩の先生から言われたことを今でも忘れずに、向学心をもって毎日の診療・治療に専念すること。もう1つは、自分自身もパイロットとして、一生涯大空を健康に飛び続ける。このことを心に刻みながら親切・正確・迅速に信頼される医療機関を目指します。



～ 表彰報告 ～

航空関係事業の発展に尽力し、その功績が顕著であり、かつ各職種においての成績が優秀な会員の方を協会より推薦させていただいております。受賞者の皆さま、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

春の黄綬褒章

大畑 博史 様 (日本航空)
尾畑 陽介 様 (全日本空輸)
高柳 英治 様 (全日本空輸)
田中 晶敏 様 (ジェイエア)
上谷 宏 様 (スプリング・ジャパン)



会長奨励賞

西村 歩夏 様 (崇城大学) 牧 裕太 様 (桜美林大学)
水島 健登 様 (法政大学) 黒川 竜暉 様 (東海大学)
安部 剛史 様 (千葉科学大学) 永吉 理子 様 (第一工科大学)

※大学・大学校の操縦士養成課程の卒業生の成績優秀者に対し JAPA 会長が行う表彰

協会長表彰

柳井 研二 様 (読売新聞社) 清水 智 様 (全日本空輸)
本田 敦司 様 (全日本空輸) 駒田 拓也 様 (全日本空輸)
山田 仁 様 (セントラルヘリコプターサービス) 川去 健雄 様 (札幌市消防局)

※航空界に貢献された会員に対し JAPA 会長が行う表彰



5月14日 黄綬褒章伝達式



6月21日 協会長表彰授与式




会員 福利厚生のご案内



レンタカー

- **日産レンタカー**
全国予約センター0120-00-1767 (平日8:00~20:00 土・日・祝9:00~18:00)
ご予約・お問い合わせの際は当協会の会員である旨、および会員ページに記載のある日産レンタカー会員コードをお伝えください。
- **タイムズカーレンタル**
タイムズカーレンタルコールセンター 0120-63-5656
- **オリックスレンタカー**
中央予約センターフリーダイヤル0120-89-0543
予約の際は、電話で「法人コード901-25075 日本航空機操縦士協会会員」と必ずお伝えください。

 利用方法を詳しく明記しておりますので、お電話される前に必ずJAPAホームページ内の会員特典をご覧ください。

ショッピング

- 大丸松坂屋百貨店お得意様
ゴールドカードサービス
- 鳳文書林出版販売 発行書籍
JAPAを通じた通信販売のみ10%割引
- JAL PLAZA (全国24空港) 5%割引
- 高島屋 (一部) 現金支払のみ5%割引

お食事

- 東京エアポートレストラン (54店舗)
(羽田空港第1、第2、第3ターミナル)
- 銀座ライオン 現金支払のみ10%割引
羽田空港マーケットプレイス店
ブラッセリー銀座ライオン羽田空港店

宿泊・ゴルフ

- リーガロイヤルホテルグループ
(割引対象 東京・大阪・京都他)
- ゴルフカントリークラブ
ロイヤル高松カントリークラブ (香川)
霧島ゴルフクラブ (鹿児島)

協会顧問弁護士への相談

会員の皆さまが法律上のご相談をご希望の際にも、弁護士事務所へご相談が可能です。(対応は平日の日中帯、費用は相談者さまの負担となります。)
弁護士事務所のご連絡先は、以下会員ページにアクセスの上、ご確認ください。

<https://member.japa.or.jp/2299>

各施設のご利用方法や詳細はJAPAホームページをご参照ください。
<https://www.japa.or.jp/member/tokuten>

**JAPA会員に
ご入会頂けますと
特典盛り沢山!**

- ★最新のAIM-Jのお届け(年2回)、パイロット手帳のお届け
 - ★電子書籍(オフラインでも利用可能です)
 - ★会員限定ロスオブライセンスの加入
(最長で68歳まで所得補償を継続して受けることができます)
 - ★JAPASHOP・フライトシミュレーター(FTD)・セミナーの会員割引等
- ※一部特典は会員資格により適用されない場合があります。

【お知らせ】AIM・パイロット手帳の送付不要連絡について

AIM-J日本語版、パイロット手帳につきましては、一部の方よりお声をいただき、送付不要の方への郵送を差し控えます。送付不要の方は右記QRコードより、その旨お知らせ願います。QRコードを読み込むと、会員ページへアクセスします。「マイページ」にてご選択くださいませうようお願い申し上げます。

AIM・手帳送付不要
連絡用 QR コード



住所などの会員情報更新のお願い

お引越しなどで住所などが変更になった場合は、速やかに会員ページより情報の変更をお願いいたします。会員ページへのアクセスについてご不明な際は、ご案内いたしますので事務局までご連絡願います。ご協力、よろしくお願い申し上げます。

会員ページはこちら



会費のクレジットカード決済

クレジットカードでの年会費のお支払いが可能です。カード決済をご希望の方は、会員ページよりクレジットカードのご登録をお願いします。

ご登録方法



お知らせ

収支改善のため当面の間、パイロット誌Summer号は、電子書籍のみの配信となり、冊子の郵送は行いませんので会員の皆さまにおかれましては、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

今後のJAPAセミナー開催予定

セミナータイトル	開催日／開催地区
Fly with us ～空の仕事ワークショップ～	2024年10月19日(土)《東京》
	2024年11月16日(土)《愛知》
	2024年12月21日(土)《大阪》
Be a pilotオンラインセミナー	2025年3月 日程調整中
RNAV講演会	第2回 10月頃 日程調整中(来場+オンライン)
	第3回 12月以降 日程調整中(来場+オンライン)
小型航空機セーフティセミナー	2025年2月 日程調整中(来場+オンライン)
TEM/CRMセミナー	(基礎コース) 2024年12月 日程調整中
	(SRMコース) 2024年9月、2025年2月 日程調整中
航空安全講習会	2024年8月31日(土)《東京》JAPA 会議室(来場+オンライン)
	2024年10月13日(日)《東京》JAPA 会議室(来場+オンライン)
	2024年11月17日(日)《大阪》ドーンセンター(来場+オンライン)
	2024年12月21日(土)《東京》JAPA 会議室(来場+オンライン)
	2025年2月9日(日)《東京》JAPA 会議室(来場+オンライン)
ATSシンポジウム	2024年10月19日(土) オンライン開催
航空気象シンポジウム	2024年11月16日(土) (東京) 航空会館(来場+オンライン)

- ◆申込受付の開始については、JAPA ホームページ、メールマガジンでご案内致します。
- ◆都合により、開催中止や開催方法に変更が生じる場合がございます。

入会のご案内

当協会は現在約6,700名の会員が所属しており、エアライン、航空事業会社、官公庁および自家用操縦士などの会員により構成されております。皆さまも航空業界の仲間たちと共に活動しませんか？

◆入会方法

1. 入会申込フォームにて必要項目を入力し、JAPAに送信してください。
2. 協会より会員特典などを送付させていただきます。(会員資格・特典・会費などについてはホームページをご参照ください。)

日本航空機操縦士協会について
詳しくは JAPA ホームページへ

www.japa.or.jp

JAPA

検索

パイロット

Vol. 25
2024 Summer

発行 | 公益社団法人 日本航空機操縦士協会
(Japan Aircraft Pilot Association)

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3
TEL 03-6809-2902(代) FAX 03-3434-7774
JAPAホームページ URL <https://www.japa.or.jp/>
E-mail: japa@japa.or.jp

禁無断転載

落丁・乱丁本がありましたらお取替えいたします

編集 広報企画委員会
発行 池田 晃二
印刷 星光社印刷株式会社